

大阪教育大学生協 どこでも七夕2026

第400号



[環境]

取り組み概要

日時：07/02（木）～07/08（水）
場所：大阪教育大学柏原キャンパス内の
リ・リパック回収BOX
目標達成：実施前週より回収率4%UP、
短冊201枚、生協への願い事11名参加

背景や概要：七夕企画を楽しみながら、
リ・リパック回収BOXの認知度・回収率
向上を目指した。BOXを装飾し、視認性
を高め、二次元コードから「生協運営へ
の願い事」を募集し、組織運営に反映で
きるよう工夫した。

POINT.1

七夕×リ・リパックで回収箱を周知



学内に設置されているリ・リパック回収BOXを七夕仕様に装飾し、
組合員が願い事を書いた短冊を飾れるようにすることで、回収箱の認
知向上を目指した取り組みです。リ・リパックを回収につなげるため
には、組合員に回収箱の存在と「学内のどこにあるのか」まで知って
もらうことが重要です。そこで、七夕という季節感のある企画を回収
箱と掛け合わせ、短冊を書いたり装飾に目を留めたりする中で、自然
と回収箱の場所を知ってもらえる工夫をしています。七夕への関心を
入口に、これまで回収箱を意識していなかった人にもその存在と場所
を伝え、企画後の継続的な回収にもつなげている点が、この取り組み
の大きなポイントです。

POINT.2

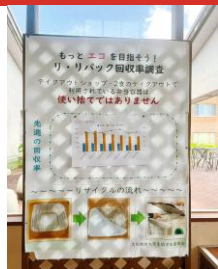
願い事を生協運営につなげる

七夕の短冊で自由な願い事を募集するとともに、二次元コードから
「生協にこうしてほしい」という願いや要望も募集した取り組みです。
大学生協では、組合員の声を聞き、それを運営や取り組みに活かして
いくことが大切ですが、普段の生活の中で生協への意見を伝える機会
はなかなか意識されにくいものです。そこで、誰でも参加しやすい七夕
企画と組み合わせることで、生協について考えたり、自分の声を届
けたりするきっかけをつくっています。七夕の「願い事」というテー
マをそのまま生協への願いにも広げ、季節の企画への参加を組合員の
声を集める機会につなげている点が、この取り組みの大きなポイント
です。



POINT.3

「知る」ことで回収を後押し



七夕の装飾とあわせて、リ・リパックの捨て方や回収率の推移、
リ・リパックに関する豆知識などをまとめたポスターも掲示していま
す。回収箱の存在や場所を知ってもらうだけでなく、正しい捨て方や
実際の回収状況を伝えることで、リ・リパックそのものについて知り、
回収を意識するきっかけをつくっています。七夕企画で回収箱に目を
向けてもらうことに加えて、ポスターから必要な情報を伝えることで
理解を深め、日頃からリ・リパックの回収を意識してもらえるよう後
押ししている点がポイントです。

つながる元気、ときめきキャンパス。



七夕で広げる、
リ・リ
パック回収と組合員の声